

新宮山彦ぐるーぷ第1823回

持経宿改築 玄関ポーチと建具整備・柱塗装など

◇実施日：平成27年7月8日(水)～9日(木)

◇参加者：木下嘉彦棟梁、左官；久保奥幸司、の2名は1泊2日

8日帰り・建具職・中山 隆、山上皓一郎、川島 功、
梶野照雄、4名。 計6名

7月8日(水) 雨

2日前の天気予報では晴れマークが出ていたが、一転して雨の一日となった。浦向で行仙方向を見ると、稜線は雲の中に隠れている。白谷トンネルの中もガスが充満して見通しが悪い。

9時15分に白谷林道に入る。前回、帰り道でパンクしたので慎重に走る。9時50分、持経宿に到着。

新宮組は、オークワ有馬店で宿泊する棟梁が買い物、飛鳥サークルKで中山建具職、不動トンネル分岐で久保奥左官屋さんと合流し、9時40分に持経宿に到着、



玄関前整地



下部が塞がった



引戸の寸法調整中

玄関側の犬走りと玄関ポーチのコンクリート仕上をする作業の

ため、棟梁と山上、川島の両氏は玄関前の用材を移動し、カンナくずを集めて整地を始めている。左官職・久保奥さんは、玄関南側に出来た個室”の下部をブロックで塞ぐ作業中。その後、右側の部屋下を持経宿のレンガ12枚で塞ぐ。室内では建具職の中山さんが毛布置き場の引戸の寸法調整中だ。

棟梁・山上・川島は、雨水貯槽の排水パイプ撤去とこれまで使われていた緑かかった平石を敷き詰めるため集めてくる。

梶野は外壁の未塗装の部分と、内側の柱、サッシ枠の塗装を始める。サッシにマスキングテープを貼ろうとするが、結露している、テープがうまくくっつかない。湿度が100%に近く塗装条件は最悪だ。乾燥も遅いので、2時間ほどで作業を終了した。

下北山森林事務所の岩元 猛首席森林管が、林道の工事状況確認のため通りかかる。小屋内に招き入れて内部を見て頂く。



塗装した柱、サッシ枠



新しい引戸



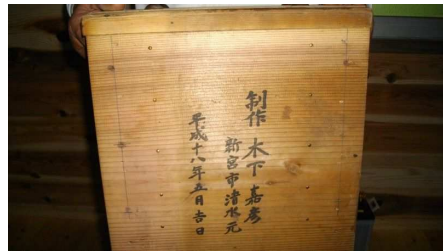
引き出し修理中

11時頃には毛布置き場に新しい引戸が入った。

作業が一段落した建具職の中山さんに「つり戸棚の引き出しが動かない」と相談すると、直してくださいさるといふ。棟梁と2人でひっぱるが、前板が外れてバラバラになってしまった。残る2つの引き出しを慎重にはずしてみると、中から落ち葉がいっぱい出

てきた。外に置いてある間に鼠が巣作りをしていたようだ。

11時半に昼食。食後のコーヒーに砂糖を入れようと棚上に置いた砂糖を取ると、一緒に置いてあったラッキョウの袋が鼠に噛み破られ、砂糖も湿っている。食糧は全て扉の内側に保管することが必須だ。鼠忌避剤などを置くことも考えなければならぬ。



不動産内遅い昼食の縦走者 玄関ポーチは石畳に

志納箱裏

午後、小雨だった雨が本格的な降り方に変わる。室内では、中山さんが引き出しの修理、棟梁と久保奥さん、山上、川島4名は玄関ポーチの整地、梶野は塗装道具の後始末にかかる。

玄関前にあったレンガは、棟梁と山上、川島両氏協議の結果、取り除いて全て石畳にすることになった。棟梁は玄関サッシを取り付ける時からのレンガを気にしていたが、取り除いて石畳にすることによって統一感のあるスマートなポーチに仕上がった。

この悪天候の中でも縦走者はいる。13時30分ごろ、3名が小屋前を南下してきた。小屋入口が工事中なので、お堂で食事してもらおう。中の青年は山上さんの知人のお孫さんだそう。

14時30分。ちよつと早めの休憩。持経宿が初めての久保奥さんと中山さんは「えらいとこまで来た」と驚いておられるが、さすがは年季を積んだ職人、仕事は淡々とこなしておられた。

休憩後、志納箱を取り付けていただく。

以前の場所では志納箱の厚さが通路の障害となることが予想されたので、玄関を入れて一番見えやすい正面に取り付けた。

中山さんは、壊れた引き出しを元通りに組み立て、他の2つの引き出しもスムーズに引き出せるようにしてくださいました。

ガラス引戸が動きにくかったのは当たり前で、上下が反対に入られているように思えた。よう 入れたたなあ」と入れたことを感心されていた。

15時15分、中山さんの作業もすべて終了したので、棟梁と久保奥さんに後を託し下山した。

帰路は川上村に入るまで、ずっと雨。帰宅してからまた降り出した。新宮組は西山経由で17時20分帰新。



志納箱取り付け

本日の参加者

大滝ダム付近で

行動タイム

7月8日(水)

堺5:50→9:15 白谷林道ゲート→9:50 持経宿→11:30 昼食 12:20
→14:30 休憩→持経宿 15:15→16:06 号経由→19:10 堺

(記 梶野)